

町田 BIZ 広がれ!

町田商工会議所

経済トレンド反映 創業スクール

同商議所主催の「まちだ創業スクール」は経済トレンドを反映した講座で毎年人気だ。昨年は「ネット活用」「リアル店舗」の2科目で実施。同職員は「受講者には仲間意識も生まれ、創業へ応援しあうつながりができている」。地元に戻り創業する町田出身者の相談も多く「郷土愛を肌で感じる」という。



原町田3-3-22 ☎042-724-6614

今年「本格創業」副業をテーマに9月開講

町田新産業創造センター

子ども起業塾 未来へ種まき

地元インキュベーション拠点として創業相談や貸オフィス事業をはじめ、小学生が創業を疑似体験する起業塾、地元企業の経営課題について起業家が解決策を競うビジネスコンテストも展開する。同センターの伊藤亨専務は「町田は新しいものが受け入れられやすく創業・起業に魅力的なまちなんです」。



中町1-4-2 ☎042-850-8525

市と商議所らが出資創業拠点として設立

COMMUNE BASE マチノフ

成長支援でまちづくり

木材に囲まれた内観が印象的な民間シェアオフィス。「個人や小さな組織が自立し楽しく活躍する街をつくりたい」と2017年に創設され、多くの起業家やフリーランス、クリエイターの活動拠点になっている。会員の商品やサービスを紹介する展示場を設け、ビジネスマッチングの機能も果たしている。



中町3-10-6 ☎042-860-6491

全ての人が主役 チャンスを掴む場所に



BUSO AGORAで保志代表取締役

キープ・ウィルダイニング 保志真人代表取締役

BUSO AGORA 原町田6-9-8 AETA町田4階 ☎042-851-7856

中二階にあるロフト風のスペース、革張りのカウチソファ、配管むきだし風のスケルトン天井。どこを切り取っても絵になる空間「BUSO AGORA」は、原町田に昨夏オープンした coworking & シェアオフィスだ。カフェのような心地よいBGMが流れ、ランチボックスやドリンクメニューも充実。「オフィス」でありながら夜はアルコールの持ち込みも可能というから驚きだが、それは単なる場所貸しではなく、ビジネスの可能性を広げうるコミュニケーションを活発化させる場にしたという狙いからだ。さらに、インキュベーションオフィスの機能も併せ持ち、起業に精通したスタッフが在籍。起業を志す人へアドバイスを送るほか、利用者同士が互いの事業を紹介したり、夢を語り合うイベントも開催している。

志と夢をつなげる

同オフィスを運営するのは、町田市内を中心に幅広く飲食店を展開している株式会社キープ・ウィルダイニング。起業支援という畑違いとも言える分野に乗り出した背景にあるのは、代表取締役の保志真人さん自身の体験だった。「創業に向けて動き出した時、十分な資金や保証人がなかった私は、どこへ相談に行ってもかけられるのは『無理だ』『甘いよ』と否定的な言葉ばかり。一向に前に進めませんでした」 幸運にも両親の支えがあり、創業に向けて踏み出した保志さん。だが、「志があっても、知識や人脈がなければ夢をあきらめざるを得ない現実」があることは、ずっと脳裏に焼き付いていた。そんな苦い記憶こそ、起業の夢を抱く同志を支援する原動力だ。「町田には『自分らしく生きたい』と願う人が集う。そんな街にしたい」



特集

創業の夢 叶うまち

町田市の開業率^{*}は6・4%（2014年〜16年）と近隣都市と比べ高水準で推移している。古くからの商業集積地であり、交通便利性が高く、子育て世代の転入が増えているといった商圏の魅力もさることながら、開業率を底上げしている理由には、官民の垣根を超えた町田特有の創業支援の動きがある。

町田市は、「チャレンジするならTOKYOの町田から!」と題した「町田市産業振興計画19-28」を策定し、『立ち上げるチャレンジ』を施策の柱の一つとして、起業・創業を後押しする様々な取り組みを行っている。13年には、民間との共同出資でインキュベーション施設「町田新産業創造センター」を設立。会社登録免許税の50%減免や創業資金の利子全額補助などを含む「町田創業プロジェクト」を展開し、町田商工会議所や新産業創造センターらと連携して創業支援を進めている。また、地元実業家が「シェアオフィス」を運営するなど、民間でも創業者を育てる輪が広がっている。夢の叶うまちへ。その動きを追った。

^{*}期間当初の事業所数に対し、新規開業した年平均の事業所数が占める割合